

民主島根

2018年
12.16
第1326号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

浜に混乱と対立をもたらす 漁業法改悪ゆるさない

大田 有坂哲夫氏(党農林局長)迎え、学習会ひらく



漁協組合長、漁師ら25人を前に講演する有坂氏(大田市)

日本共産党島根県委員会は11月28日、党中央の国民運動委員会農林・漁民局長の有坂哲夫氏を講師に大田市で漁業政策学習会を開きました。漁協組合長や漁師など25人が参加しました。

有坂氏は「安倍政権が狙う『水産改革』は漁協や地元漁業者を優先してきたルールを廃止し、漁業を企業に開放して浜に混乱と対立をもたらすもの」と指摘。「漁業者集団が管理してきた資源管理を政府主導型にする『海区漁業調整委員の公選制廃止』など、漁業法改悪が何をもたらすかを説明しました。感想交流で、漁業の男性は「漁民も高齢化し、漁業を支える船を修理する人も高齢化している」と厳しい実情を訴えました。



11月県議会の論戦から

日本共産党の大国陽介県議は11月27日、一般質問に、尾村利成県議は3日、一問一答質問に立ち、県知事や県執行部をたどしました。(2面に続く)

■消費税10%増税の中止を

長引く消費不況に加え、年金の支給額減少、医療・介護・年金などの社会保障料や医療費の負担増などで県民生活はいつそう苦しくなっています。

大国県議は、国保や介護の保険料が払えず、社会保障制度から排除されています。



尾村県議の一問一答

原発周辺の防災対策強化を

尾村県議は、島根原発敷地内に7つある土砂災害危険箇所(原発1号谷、原発2号谷、原発3号谷、片句1、4)について万全な対策を講じるとともに、山陰地方にひずみ集中帯が広範囲に存在し、地震の活動期に入ったとの専門家の警告を受け止め、大地震に備えた災害対策・防災対策を強化するように求めました。

尾村氏は、同原発のそばを走る宍道断層(39*^キ)と鳥取沖断層(98*^キ)との間隔がわずか5

■松江北道路建設の中止を

松江北道路建設ルートには宍道断層(最短距離約1.3*^キ)が走り、同断層の近傍には土砂災害危険箇所が1236箇所も存在しています。

尾村県議は、昨年4月に発生した熊本地震では活断層沿いが震度7相当の揺れに見舞われ、断層から1*^キ以内は建物が壊

除の利用者負担の軽減など、県民のくらしを守る予算を抜本的に増やすよう求めました。

また、安倍政権が狙う消費税10%増税について、低所得者ほど負担が重くなる消費税のさらなる増税は消費をいっそう冷え込ませ、景気をさらに悪化させること、増税から4年後に導入される「インボイス」により、年商1000万円以下の

免税業者が取引から排除される恐れがあり、小規模事業者に与える影響は甚大であると指摘し、「来年10月からの消費税10%増税は実施すべきではない」と要求しました。

溝口善兵衛知事は「社会保障制度は国全体として役割を果たすべきもので」「(10%増税は)県民生活に影響がないよう政府の動きを注視していく」と答えました。

たことをあげ、宍道断層周辺を「活断層防災特別推進地域」に指定するよう迫りました。

原発敷地内の土砂災害危険箇所について、山口和志防災部長は「原子力規制委員会は厳格に審査してほしい。中国電力は規制委の審査の指摘には適切に対処してほしい」と答えました。

尾村氏は「県としても調査するなど、しかるべき対応をすべきだ」と指摘し、「想定外の事態に備えた万全な対策を講じるべきだ」と訴えました。

滅的な被害を受ける「震災の帯」ができたとし、「活断層近傍に新規道路を建設するなど論外だ」と強調。「住民の理解と合意はなく、性急に都市計画手続きに入るべきではない」と強く求めました。

真田晃宏土木部長は「住民の理解を得ていくことは必要」と答えました。

■松江北道路建設の中止を

松江北道路建設ルートには宍道断層(最短距離約1.3*^キ)が走り、同断層の近傍には土砂災害危険箇所が1236箇所も存在しています。

尾村県議は、昨年4月に発生した熊本地震では活断層沿いが震度7相当の揺れに見舞われ、断層から1*^キ以内は建物が壊

たことをあげ、宍道断層周辺を「活断層防災特別推進地域」に指定するよう迫りました。

原発敷地内の土砂災害危険箇所について、山口和志防災部長は「原子力規制委員会は厳格に審査してほしい。中国電力は規制委の審査の指摘には適切に対処してほしい」と答えました。

尾村氏は「県としても調査するなど、しかるべき対応をすべきだ」と指摘し、「想定外の事態に備えた万全な対策を講じるべきだ」と訴えました。

鼓動

筆者の知る限り、日本のモータースポーツ界にはカミオン(トラック)部門はない。しかし、外国で行われる競技、例えばダカール・ラリーではトラックのレースが存在する。その中で輝きを放っているのが、日野の中型トラック「レンジャー」だ。外国の大型トラックと対等にたたかうことから「リトルモンスター」と呼ばれている▼小兵力士が巨漢力士を打ち負かす姿は日本人の好むところだが、小兵どころか大兵(数の力)でまともな審議もせず、入管法や漁業法などの悪法を強行し、暴走し続けている安倍政権はただの「モンスター」ではない▼国会を愚弄し、立憲主義、民主主義、平和主義をことごとく破壊しようとする安倍内閣はまさに戦後最悪の内閣。この最悪の政治を来たる一連の選挙戦で一網打尽にした。そのためにも、赤旗記者として読者が励まされ、勇気や元氣、希望がわくような記事を書きたいと思っている▼冒頭の日野のトラックチームは1997年以降、カミオン総合部門優勝から遠ざかっている。優勝した年は日本人ドライバー1名、外国人ドライバー2名で挑み、表彰台を独占した。力を合わせれば勝てるという確信はモータースポーツの世界からも垣間見ることができ、12月上旬にあった県記者会議では「記者が先頭に立ってギアチェンジを」と意思統一を図った。「リトルモンスター」はわずかな低回転でスポーツカー並みの最高出力とトルクを叩き出す。筆者も一気にならぬで安倍自公政権を終わらせるために全力を尽くしたい。(純)